

青山学院大学ゼミ学生横須賀基地研修

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻 陸尉）は、1月17日（木）、海上自衛隊横須賀基地において青山学院大学ゼミ学生の部隊研修を支援した。本研修は、安全保障問題や自衛隊を理解していただくと共に、訓練や生活に関する不安等を払拭させ、志願意欲の向上を図ることを目的に初めて実施されたもので、学生9名及び教授1名が参加した。

海上自衛隊横須賀基地に到着した学生達は、初めて見る護衛艦や艦上作業等に從事する自衛官を見て歓声を上げていた。

研修では、午前中に海上自衛隊の概要説明を受けるともに、横須賀地方総監部を出港して米海軍横須賀基地の脇を通過し第2術科学校前を経由して横須賀地方総監部へ帰港する約40分間行われた港内クルージング体験をし、とても好評であった。

隊員食堂では、窓の外に護衛艦が整然と停泊している光景を見て「とても眺めが良く、素晴らしい環境ですね」と参加した学生が感激していた。

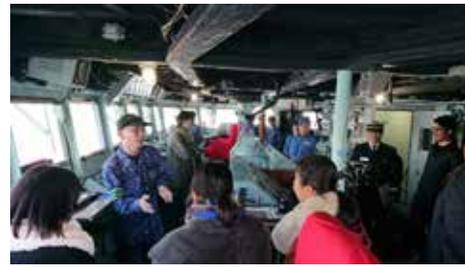
午後からは、護衛艦「やまざり」艦長（小野 小百合 海佐）の出迎えを受けた後、艦艇見学を実施した。中でも艦上で重力感ある62口径76ミリ連射砲のスビード感溢れる操作性に驚いた場面も見られたが、艦内の装備や任務の重要性等、丁寧な説明を受けた学生から補給長に就いている女性自衛官へ「艦で働く女性自衛官の割合はどのくらいですか」「艦内での住環境やプライベートの過ごし方教えてください」等の積極的な質問があり、自衛隊への関心の高さが窺えた。

研修終了後、各学生からは「非常に内容の濃い研修で充実した楽しい1日であった」「今まで知らなかった自衛隊の仕事や身近で見られて興味を持った」等の声が聞かれ、有意義な研修となった。

相模原地域事務所は、「今後も、多くの若者に自衛隊の活動や任務について理解してもらえるよう、積極的に募集広報活動に力を注いでいきたい」としている。



護衛艦「やまざり」艦上にて



艦内にて乗組員から説明を受けている様子



海上自衛隊について説明を受けている様子



参加者へ声掛けをする「やまざり」艦長（小野 1 海佐）

中学校職業体験で自衛隊の仕事を紹介

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 原 陸尉）は1月18日（金）、横浜市内の中学校の生徒が部隊で職場体験をするのに合わせて自衛隊の仕事について紹介した。

これは後日、海上自衛隊横須賀地方総監部で実施される職場体験前の挨拶と併せて、説明を聞きに来てくれた生徒達に所長と次長が説明を実施したものである。当日は2学年の男子6名と女子2名が訪れ、自衛官の仕事内容、陸・海・空の自衛隊の説明、所長らの体験談等に耳を傾けていた。

生徒からは「目が悪いけど自衛隊に入れますか」「音楽隊は普通の人でも大丈夫ですか」更には、「会計隊は訓練をしますか」等と職種に関わる具体的な質問が飛び出すなど、今の段階ですでに入隊を意識している生徒が存在することを窺うことができた。

参加した生徒は、説明を聞いた後、他の資料も真剣に読んでいた様子だった。最後に「有難うございました」と皆揃って笑顔で挨拶し、上大岡募集案内所を後にした。

上大岡募集案内所は、「今後も学校への自衛隊PRを継続して行い、学校からの要望に基づき各種行事を積極的に支援し、学校教育の目的達成に寄与するとともに、更なる自衛隊への理解促進を図り、募集成果に繋いでいきたい」としている。



所長の説明を真剣に聞く生徒ら